

2020年12月10日
AZAPA 株式会社

AZAPA「プロジェクト Olive」、 「Plug and Play Japan」のアクセラレータープログラムに採択

日本発のオープンイノベーションにより世界経済の維持・成長への寄与を目指す AZAPA 株式会社（本社：愛知県名古屋市中区 2-4-15、代表取締役社長 & CEO：近藤康弘、以下 AZAPA）が進める「プロジェクト Olive」は、Plug and Play Japan 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：ヴィンセント・フィリップ、以下 Plug and Play Japan）が、2020年12月～2021年3月期で実施するアクセラレータープログラム「Winter/Spring 2021 Batch」に採択されたことを発表しました。

Plug and Play Japan は、国内外のスタートアップ企業をグローバルレベルへ成長させるべく、本プログラムの採択企業を既存の企業パートナーとともに約 3 か月にわたり支援します。このプログラムを通して、スタートアップ企業は複数のパートナーと協業の可能性を検討することが可能になります。また、成果発表会である EXPO で優勝した場合は、本社があるシリコンバレーでのビジネスピッチの機会を得られるため、グローバルマーケットへの展開も望むことができます。

本採択を受けた「プロジェクト Olive」では、感性 / 感情の見える化を始め、その技術を活用し、付加価値を提供できる新たな空間の創造を目指します。その対象は、車内空間、オフィス、居住環境、教育現場など幅広く、そこで活動するヒトが発する機微な変化を捉え、デジタルデータとして見える化をすることから始まります。これらのデータ分析を起点として、自律的にヒトをサポートしてくれる空間づくりの可能性をパートナー企業様と共に探っていきます。

「プロジェクト Olive」は、本プログラムでの実績を基に、将来的には人の感情を『察してくれる』ようなスマートシティの実現に向けた取り組みも加速させていきます。

Plug and Play について

Plug and Play は、革新的な技術やアイデアを持つスタートアップを大手企業とともに支援するグローバル・ベンチャーキャピタル/アクセラレーターです。

2019 年は 60 を超えるアクセラレーションプログラムを実施し、400 社超の企業へイノベーションを提供しています。2006 年の創立から、私たちは 2,000 社を超える企業をアクセラレートし、70 億ドルを超える資金調達を達成しています。また、シリコンバレー本社には年間を通して 500 社以上のスタートアップが入居しています。

昨年 2019 年はプログラムを通じて、米国本社では 549 社以上の、グローバルでは 1,450 社を超えるスタートアップを支援しました。現在、世界 16 カ国 30 拠点以上に拡大し、Plug and Play Japan はその日本支社として、2017 年 7 月に設立されました。

プロジェクト Olive について

プロジェクト Olive（オリーブ）は、心拍数・呼吸数といった生体情報や動作・表情などの人間の表面に出ている複数の指標を数値化のうえ統合することで、刻々と変化するヒトの感性や感情を理解することを目指しています。これらの統合されたデータをプロダクトやサービスに応用することで、新しいテクノロジーのあり方やライフスタイルを提案していきます。

プロジェクト Olive <https://www.project-olive.info>

AZAPA について

AZAPA 株式会社は、限界を超えるイノベーションですべての人が未来を選べる世界を実現することを理念に掲げ 2008 年設立しました。自動車業界で初の独立系 Tier0.5 プレイヤーとして、システム領域でのソリューションを提供するなど自動車を中心とする事業を展開するとともに、モデルベース、計測技術、新制御開発、コネクテッド、自動運転、感性の各分野における新システムの研究、ソリューション事業を展開しています。

AZAPA 株式会社 <https://azapa.co.jp>

ソーシャルメディア

[Facebook](#)

[Instagram](#)

チーフ・サイエンティスト橋本一生による [Twitter](#)、[note](#)

お問い合わせ先 : olive@azapa.co.jp